

白馬村・小谷村では、「ふきのとう」を方言で『ちゃんめろ』と言います

発行：長野県姫川砂防事務所〔北安曇郡小谷村千国乙10307-3/電話 0261-82-3100  
 HP <https://www.pref.nagano.lg.jp/himesabo/>〕

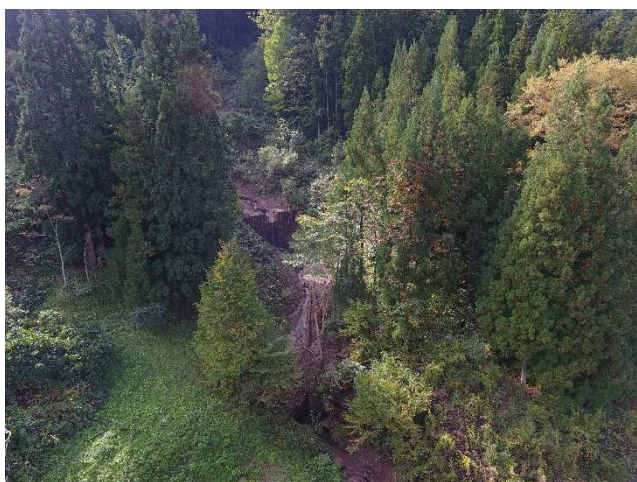
## 台風19号による降雨を振り返って

長野県では、台風19号により東北信地方を中心に河川堤防の決壊、土砂災害など数多くの被害がもたらされました。被災された皆様には、心よりお見舞い申し上げます。

管内では、10月12日(土)から13日(日)にかけての2日間で、連続雨量207mm、最大24時間雨量191mm、最大時間雨量15mm（観測局：小谷）を記録し、土砂災害が発生しました。

小谷村中土中谷東のヒノミコ沢では、谷留工で捕捉できなかった土砂が県道川尻小谷糸魚川線まで流出しました。

応急対策工事として、16日に保全対象家屋上流への土石流センサーの設置、流出土砂の撤去及び大型土のうによる仮設防護壁の設置、17日に既設堰堤のポケットの確保を行いました。今後、災害関連事業として、早期に対策事業を進めてまいります。



(砂) ヒノミコ沢 上流域の状況



(砂) ヒノミコ沢 土砂流出状況

15日に管内のパトロール実施し、ヒノミコ沢以外大きな被害は確認されませんでした。水路の破損、法面の小崩落等が発生しましたことから、随時、修繕工事等に対応してまいります。



白馬村 (砂) 峯方沢 パトロール状況



小谷村 (地) 市場1号 パトロール状況

## 小学生を対象とした現地見学会を開催しました

小谷村、白馬村の小学生を対象に、砂防施設の現地見学会（防災教育）を開催しました。毎年、この時期に、国土交通省松本砂防事務所や各小学校のご協力をいただいているものです。

今年も、9月27日(金)に白馬南小学校、10月9日(水)に白馬北小学校、10月16日(水)に小谷小学校で、それぞれ行いました。いずれも天候に恵まれ、計画どおりの内容を実施することができました。

見学会では、まず初めに「土砂災害とはどういったものか」、「事前に避難して災害から命をどう守るか」等をパネル資料や土石流の模型実験を交えて学び、その後、工事現場を見学しながら砂防事業の役割を学習しました。



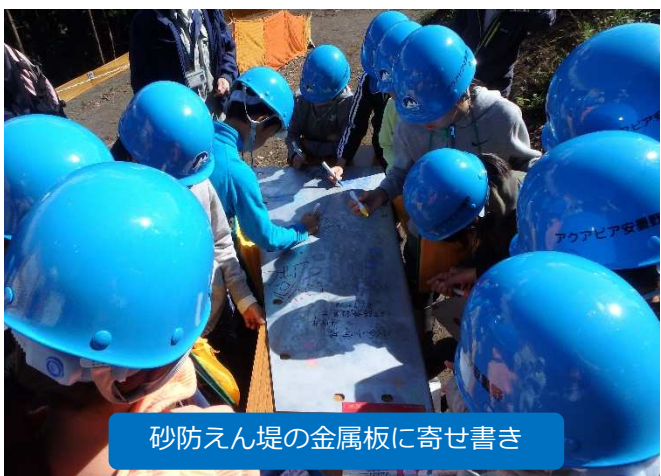
砂防工事の説明



教室での防災教育

さらに、白馬北小学校では、教室での防災教育を行い、小谷小学校の皆さんには、砂防堰堤に取り付ける金属板に記念の寄せ書きをしていただきました。

また、白馬南小学校の皆さんには、この学習に併せて、イワナの放流を体験していただきました。環境への配慮の観点から、砂防事業の一環として行われるもので、生命力あふれるイワナとの触れ合いを通して、環境への意識を高めるとともに、命の尊さを実感されたことでしょう。



砂防堰堤の金属板に寄せ書き



イワナの放流

今回参加していただいた皆さんには、記念品として、当所オリジナルの「砂防カード」と「砂防缶バッジ」をプレゼントしました。これを機に砂防施設や防災に関心を持っていただけたら幸いです。

防災教育にご協力いただいた皆様、ありがとうございました。

## 現場紹介No. 3

### 飯田 雪崩対策工事（北安曇郡白馬村 飯田地区）

#### ■本事業について

飯田地区のこの斜面は勾配30～40°の急斜面で、昭和49年2月及び昭和53年2月に雪崩が発生し、スキー場のリフトの鉄柱が破損しています。これまで人的・家屋などには被害はありませんが、雪崩の想定被害範囲には、飯田集落がありますので、雪崩予防柵を設置し、地域住民の安全・安心を確保することを目的としています。



現場位置図



航空写真



雪崩発生状況

#### ■工事の進捗状況について

工事は平成24年～令和2年の予定です。施工可能な期間が雪の影響を受けない時期に限られるため、計画的に工事を進めているところです。今年度の工事は、降雪に備えてすでに終了しており、来春、雪が溶けるのを待って、次年度の工事に入ります。



■主任技術者（平成30～令和元年度）から一言

施工現場は、急峻な斜面にあるため、モノレールや足場の設置に危険を伴う現場でした。その為、モノレールの設置ルートや足場の設置をより安全に施工できるように検討を重ね、作業を行いました。

また、落石の恐れもあり、降雨後には入念に点検を行うなど、安全第一で作業を行っています。

株式会社大糸 柏原 良彦

## 技術者セミナーを開催しました

毎年実施している管内建設業者の皆様を対象とした「技術者セミナー」を、今年も8月22日(木)に小谷村で開催しました。セミナーでは、大町労働基準監督署から工事現場での事故防止について（今年は例年に比べ事故が多いとのこと）、中部電力・NTTからは電線事故防止などの講義がありました。約65名の方々にご参加いただき、熱心に講習を受けていただきました。建設現場での事故ゼロに向け、決意を新たにいたしました。

ご協力いただきました関係機関の皆様、大変ありがとうございました。

また、セミナーにご参加いただきました技術者の皆様は、CPDSの申請をお忘れなく!!



## 令和元年度北陸地方整備局事業研究発表会で優秀賞を受賞しました

小谷村深原地区を流れる濁沢の上流には、2004年当時県内で初めて採用されたワイヤーネット堰堤が設置されています。

設置から15年を数えるこの施設について、過去の土石流捕捉実績と現在の健全性をまとめ、長野県を代表して「令和元年度北陸地方整備局事業研究発表会」で発表したところ、論文の構成と発表のわかりやすさ等が評価され、優秀賞を授与されました。

これを励みとして、今後とも、土石流対策施設の維持管理を適切に行うとともに、地域の防災を担う技術者として、より分かりやすい情報発信と技術研鑽に努めてまいります。



発表表題とワイヤーネット堰堤



表彰式の様子



長野県建設部長へ報告